

## 協議会だより

2011 1月号

NO.38

山口県農地・水・環境保全向上対策協議会

山口県農地・水・環境保全向上対策協議会

事務局長 岡村 悦男  
 (水土里ネット山口 専務理事)



新春をあらたなお気持ちで迎えられたことと、お慶び申し上げます。

本事業や水土里ネット山口のことで、何かとお世話になっておりますこと、厚くお礼申し上げます。

早いもので、平成19年度から始まった本事業も平成23年度で第一期対策の5ヶ年の最終年度となります。お陰様で皆様方の協力で、現在316活動組織 約17,400haで実施されていますが、山口県内には4,440の農業集落があり、まだ半分以下の取組でしかありませんので、もっともっと広げる必要があると思っています。

この事業を始められた集落からは、集落の話し合いの回数が増え、集落や地域のことを考えるようになったし、地域がきれいになり農業者以外の方々とも協同で行事が出来るようになったと多くの人からうれしい話を聞かされております。平成24年度からとなる本事業の第二期対策は、是非とも実施されるよう皆様方と共に頑張らなければならないと、新年に当り心あらたに決意しているところであります。

誰もきれいになったものは、人に見せて自慢したいものです。幸いに、山口県はまちとむらが近接していますので、田舎の良さを都市の人達へも理解してもらう「むら・まち交流」を盛んにすることが出来やすいところだと思います。

こうした「むら・まち交流」を盛んにすることにより、お互いの理解が深まり、むらとまちが共に活力を出し、住み良さ日本一の山口県を創ることが出来るのではないのでしょうか。

### 協議会からのお知らせ (活動のポイント・・・ご確認ください。)

- ① 本年度より、共同活動・営農活動支援交付金に係る**実施状況調書(監査報告書を添付して)**を**市町長**に提出してください。 (協議会だより第30号)
- ② 平成20年度採択された活動組織については、体制整備構想(案)を提出してください。 (協議会だより第27号)
- ③ 中山間地域等直接支払制度と重複する地域について、重複に伴う追加活動項目から「異常気象等後の見回り」及び「異常気象等後の応急措置」が削除されました。よって、活動組織は、①追加活動項目を特定するか、②協定変更の手続きをしてください。 (協議会だより第29号)

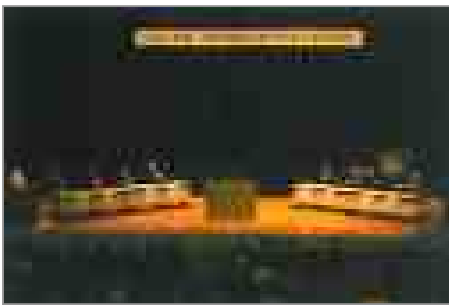
## 平成 22 年度 「農村環境の未来を考える研修会」が開催されました。

平成 22 年 12 月 3 日、山口市内において、平成 22 年度「農村環境の未来を考える研修会」が開催され、各地域の活動組織や行政・J A 等の関係者ら約 650 人の参加がありました。（主催 山口県農地・水・環境保全向上対策協議会）

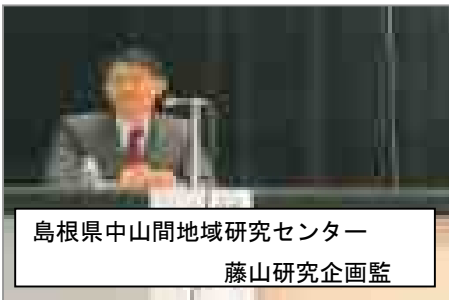
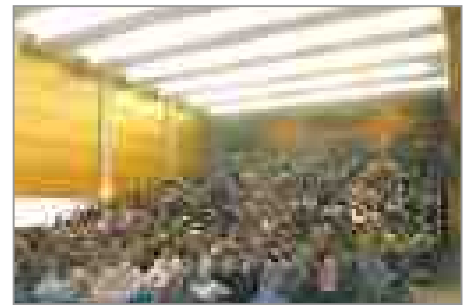
この研修会の主旨は、過疎化が進む農村部で水路などの資源保全を持続的に管理するため、地域内で多様な連携を伴った活動の強化を図ることを目的としたものです。研修会では、「未来につながる人づくり」と題して、島根県中山間地域研究センターの藤山 浩 研究企画監をコーディネーターにお招きしてパネルディスカッションが行なわれました。

また、中国四国農政局の勝山達郎局長による「食料・農業・農村をめぐる情勢について」の報告もあり、新たな視点で農業・農村を整備する必要性を強調されました。

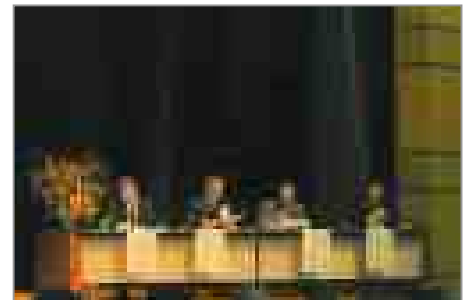
平成 19 年度に、創設された農地・水・環境保全向上対策は、現在、県内で 316 組織が取り組み、その面積は約 1 万 7 400 ヘクタールに上っています。同協議会の吹田悦会長は「地域の環境を守ることは自給率の向上と食料の安全・安心につながる。目標面積の 2 万ヘクタールを目標にして推進したい。」と話されました。



中国四国農政局 勝山局長



島根県中山間地域研究センター  
藤山研究企画監



安田地域資源保全会 松岡代表



大里地域のふるさとを守る会  
農事組合法人あいさいの里 榎本代表理事



山口県農村整備課 松田課長

編集・発行：〒753-0079 山口市糸米二丁目 13-35 (水土里ネット山口 3F)

山口県農地・水・環境保全向上対策協議会 TEL 083-933-0755 Fax 083-933-0756

【山口県 農村整備課ホームページ】 農地・水・環境保全向上対策

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a17500/noutimizu/hyousi.html>